

令和5年度 第5回下呂市教育委員会会議録

1. 招 集 日 令和5年8月25日(金)
2. 会 場 星雲会館 西風の間
3. 開会・閉会 午後3時40分 ～ 午後5時15分
4. 出 席 者 教育長 中 村 好 一
委 員 細 江 洋一郎
委 員 河 尻 明 子
委 員 小 口 晃 生
委 員 田 中 由 美
委 員 三 木 朋 哉
5. 欠 席 者 なし
6. 委員の他出席者 教育委員会事務局長 林 雅 人
教育総務課長 熊 崎 賀代子
教育総務課対策監 松 井 智 之
学校教育課長 黒 木 和 実
地域振興課長 渡 邊 展

7. 付議案件

- 日程第1 会議録署名者の指名
- 日程第2 会期について
- 日程第3 前回会議録の承認について
- 日程第4 教育長報告及び事務局報告について
- 日程第5 協議、報告事項
 - ・令和4年度教育委員会の点検・評価報告について
 - ・各課業務報告
 - ・その他

教育長 本日、傍聴の申し入れがありましたので、これを許可させていただきます。

(開会に先立ち市民憲章の唱和)

教育長 これより、令和5年度第5回下呂市教育委員会を開会します。

初めに日程第1、会議録署名者を指名します。本日河尻委員にお願いします。

教育長 日程2、会期について。会期は本日1日としてよろしいでしょうか。

(委員全員 異議なし)

それでは会期は本日1日といたします。

教育長 日程第3、前回会議の承認について、事務局より説明をお願いします。

(事務局長 会議録要旨を朗読)

教育長 ただ今の会議録にご異議がある方ありませんか。前回の会議について承認される方は挙手願います。

(全員挙手)

教育長 それでは前回会議録について承認といたします。

教育長 日程第4、教育長報告及び事務局報告をいたします。

1. 夏休み終了

38日間に及ぶ夏休みも終わろうとしており、月曜日より二期がスタートします。久しぶりの行動制限のない夏休み、夏休み中には大きな事故の報告もなく、うれしく思います。子供たちも楽しい夏休みを過ごしてくれたことと思います。コロナ感染症が5類への移行を受けたことにより、夏休み中の児童生徒のコロナ感染症の状況は拵んでいません。しかし、月曜日の2期のスタートへコロナによって欠席する児童生徒は1人という報告を受けています。

下呂市においてはコロナに感染している人が少なくないという事実を受け、二期からもインフルエンザ感染症も含め、換気、消毒、体調管理などの対策を継続するよう依頼しています。

2. 中体連全国・東海大会出場選手市長激励会について

8月2日に、中体連全国・東海大会出場選手の市長激励会が行われました。全国大会出場の萩原南中学校陸上競技部の女子リレーチームと100m種目で出場の萩原北中学校生徒1名、東海大会出場の萩原南中学校、萩原北中学校、下呂中学校、金山中学校の陸上競技部の皆さん16名、体操個人戦に出場の金山中学校生徒1名、県大会で優勝した下呂中学校の軟式野球部18名です。それぞれの代表の抱負の中に、感謝の言葉とともに、多くの仲間と切磋琢磨できたことの良さを語り、印象的でした。当日は市長、副市長、副議長、スポーツ協会副会長、そして教育長から激励の言葉をかけさせていただきました。結果は別紙の通りです。

3. 叙位伝達の報告

叙位伝達の報告です。下呂町立下呂中学校長を最後にご退職されました下呂市の初代教育長の田口正邦先生ですが、今年の5月17日にご逝去されました。8月16日(水)に、叙位「位記」をご家族の方に自宅にて伝達をさせていただきました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

教育長 教育長報告について、ご質問、ご意見はありませんか。

(全員 質疑等なし)

教育長 日程第5、協議、報告事項になります。令和4年度教育委員会の点検・評価報告について説明願います。

(教育総務課長が朗読説明)

(学校教育課長が朗読説明)

教育長 ただいまの説明についてご意見をお願いします。

河尻委員 2ページ目の成果・評価について、いじめの認知件数ですが、認知件数を下げることが目的ではなく、重大事態に至ったケースはないと書いてありますが、重大事案というのは、どのようなものを指しているのか、どの程度超えれば、重大事案に当たるのか例を教えてください。

学校教育課長 これは法律にしっかり規定してありまして、一つにいじめによって不登校になった。そして30日以上欠席が見られたというようなことは、重大事態として取り上げ、市としてやっていかなければならないとなっております。そうい

ったケースはないということです。

河尻委員 現在継続中の不登校の生徒さんがいらっしゃる中でそれがいじめが原因でということではなく、他に起因があつてついでというふうなことついでということですね。いじめの重大事案ついでというのはもうその定義のみで、11名の内容には関係がないということですね。いじめの内容がひどいことをされたということではなく、今教えていただいた内容が決められてる規定ということですね。

教育長 0日以上ということと、いじめによってその子が自殺などありますよね。だから内容によっても、状況によっては、重大事案となることがあるということで、これについてはこちらで話をしてまた重大事案として上げていくということになります。

河尻委員 不登校にならない範囲で登校している生徒さんは、受けたいじめの内容にかかわらず重大事案には当たらないということですか。いじめが原因で、30日以上の欠席というのが重大で、事案に当たるといふことならば、その30日以上の欠席にならないで、時々出席してる状態の子供さんが、実際に受けたいじめの内容は、特に重大であるとか重大ではないとかどう思ってるのか。ひどいいじめとニュースで伝えられることは、そういったことの規定はないということですか。受けた側が例えば自殺に至ったりと、受けた側の行った行動で、重大かどうかということであつて、行った側がどんなことをしたかは、重大なのか重大じゃないかには関係がないということですか

教育長 法的なことをもう少し詳しくまた確認させていただきます。

細江委員 教育環境の改築・修繕関係についてですが、金山小学校の統合によって下原、東、菅田小学校のいらなくなったエアコンやトイレなどの再利用はされるのでしょうか。

教育総務課長 他の学校でエアコンが壊れたときに再利用したり、備品なども希望のある学校に配置しまして、新たに活用はしております。

細江委員 有効活用されてるということですね。3年ほど前の教育委員会で言いましたが、リバーサイドのトイレは洋式がひとつもないから、保育園児やお年寄りが使用に大変な苦勞をしないとところで、早く様式化をということで、まちづくりの推進課にも伝えましたが、順番あるからまってくださいと言われて、それも2年、3年経ってるんですよ。今の市長になってからこの会議で言ったんですが待ってくださいって、いつまで待って実現できるかまちづくり推進課に聞いていただきたいんですが。

教育総務課長 リバーサイド等、公共施設のトイレの洋式化は市長の公約にもありますが、予算の関係もありますし、まずは学校施設の方を優先的に行っております。市長の公約で公言しておりますので、順番どおり行っておりますが、その順番がいつになるかはまちづくり推進課に確認しておきます。

細江委員 遠方の学校関係者が来ると恥ずかしいですよ。なんで金山には洋式トイレがないのって言われたりするんですね。これは切実な問題で、市外に対して恥ずかしいと思います。

小口委員 下呂市は学校、保護者、地域が一緒になって子供を育てましょうということで進めてますよね。報告見ても、地域住民という言葉とか、学校、保護者、地域とか、地区で見守り隊やスクールサポーターとか、地域協働とか、いろんな言葉が出てくるんですけど、学校で行われていることが十分にわかってないんです

よ。例えば今年の卒業式のときに（地域に）おめでとうの周知が出ましたよね。いいことやなと思ってたんですが、今まではいつが卒業式ですよというような案内だったのが、今年はみんなでお祝いしましょうという感じで出ていましたが、誰に向かって言ってるんやっていう声が入ってきたんです。それをやろうとされた方は市民みんなで卒業生をお祝いしてあげようねっていう気持ちはわかるんですが、見た人に本当に伝わるかどうかということを思ったんです。そういうことで今、学校運営協議会で一生懸命頑張ってみえますが、地域と一緒にありますが、その地域ってどこなんや。例えば部活動でいくと地域と一緒にやりまよって言ったら、地域のスポーツ指導者が地域のようにとらえられるんじゃないかなということがあって、地域という言葉は入ってくるが、逆に地域の人たちにとっては、一緒にやるとるんやなっていうのが、どれだけ腹に入るんかなっていうようなことを思ったりするんです。

同じように思ってるのが、月曜日の3時に小学生の見守りの放送がありますが、近所のお年寄りや、子供がおるときには必ず声かけるようにするよ。何かいいことあったか、気をつけて帰ってよって。それが私にできる精一杯だよって言われたが、みんなそれやってくれりゃいいし、市もそうやってみんな育てまよってことやと俺思っとるよって言ったら、これからもそうするよって感じですが、みんな育てまよって、地域も一緒に育てまよって、保護者と一緒にやりまよって言いながら、何かすっきりしてないんですよ。そんな思いを持ってね。

だから学校運営協議会とか、はぐくみ協議会が頑張ってくれとるのはわかるんやけど。協力はできんけど、理解したと思いたい人が、あいつら何やってんのって負にとらえられるようなこともあったりして、なんかせつかくみんなやしてるのに、もったいないなあって感じることもあるんです。そういったことからこの中にあるように地域住民が当事者意識をもって児童生徒を育成していくことの大切さが浸透してきている。ある部分はあるけど本当にそうなんですか、いや、なんでそれあるのとかいうようなことを最近とみに思うんです。だから、僕は今言っとることをみんなにわかるように教育委員会からパッと出せって難しいかもしれないけど、例えば学校でこんなことあって、こんな話聞きましたよということも、入れてもらえるようなふうにするのがありがたいなと思ってますし、学校だよりを全部読んでみたんですけど、案外中学校の校長先生が子供たちのことを書いてますよね。小学校の校長先生方は理屈みたいなこと書いていて、あれと思ったの。これ逆じゃないかと思いつつも、そういうことをすべてじゃないけど、たまには子供たちの様子を地域の人にわかるように、学校の方から流していただけるようなことがあると、せつかく地域に学校だよりが回覧されるので安心されたり、こういうことやるんかってこともわかるんじゃないかなと思います。10年前の自分のことは棚に上げて言っておりますけども。

教育長 今の話で、学校の子供の様子とか何かを知らせる方法っていうのは、どんなことがありますか。

学校教育課長 学校からの発信という点では、今は一つホームページというものの更新というのがあります。ホームページをできるだけタイムリーに情報として伝えているということ。ただ、言われたように、学校だよりを使ってやっているというところ。さらにはコミュニティスクールがある学校、機関誌なんかある学校については、それに載せて、年に何回かってことになりますけどそんなふう伝えて

いるっていうところがありますので、今後、更にとということになりますとやはり、ホームページが一番手っ取り早くやりやすいかなってことを思いますので校長会でもぜひ活用していただくように、お願いはできるかなと思っております。

小口委員 それやると子供のことは伝わらない。ホームページはナンバー入れないと入っていけないでしょう。

細江委員 下呂中から出されている文書をずっと読まさせていただいて、部落で回覧してます。うちの班でも回覧してまして、学校通信だって小学校に関しては、毎回回覧してほとんどの方は見られてると思いますけど。学校通信に関してはそういうふうにしていけばいいんじゃないですか。

小口委員 回覧されてますよ。もう少し伝えるという意味で、学校運営協議会が3月に出してくれたんですよ。馬瀬小学校の運動会については子供が減ってるんで、みんなで盛り上げようってことで大人がものすごく頑張るんです。どっちかっていうと、村民運動会に近いような形で、ちょっと違うぞと思うような意見もあったりするんだけど、そういう様子を学校運営協議会の人たちが書いたのが3月だったので、できるだけタイムリーに出していただいたりするといいかな。

教育長 学校も内容とか、(広報の)回し方などもやってます。今10年前と違うのは、先ほどから出ている運営協議会があります。今までは学校、学校だったのが、もう学校ではない。学校は学校でやりますよ。でも地域は地域でやりましょう。これはコミュニティスクールの考え方ですよ。今、機関紙が出るということで、まだコミュニティスクールは動き出してから間がないので、今後役割として、やはり広報っていう子供のよさを知らせるっていうのは、地域の役割の一つかもしれないですね。地域がやってるっていう動きになってきてますので、そうするとその広報の仕方っていうことが一つの地域の子供のよさを出すのが地域の役割だろうということもあるので、ぜひそういうこともまた、学校の運営協議会に話をして、そういう動きができるようにすると、少しでも地域の人に広がるという方法になることがあるんじゃないかと思いますが、校長会で話をしてください。

学校教育課長 ぜひそういう方向で進めていけるといいなんてことを思います。尾崎小学校は本当に冊子になるようなものやってますし、他にもぜひ参考にさせていただいて、やっていただきたいなと思います。校長会で周知したいと思います。

小口委員 今、学校で不燃物集めてるじゃないですか、あれいいことやなと思って近所の方が尾崎小に見に行かれて、馬瀬でもできないかと言うんですよ。馬瀬小でやる予定のところの地主さんに聞くと、頼まれたで自由に使ってくださって話だけど、それがどこがやってるのかなかなか情報が出てこない。地域の人はいいことで協力しようかと思っても、情報が独り歩きしてしまっただけ。もちろん誤解されるんじゃないかなってこともちょっと強く感じたんで。

教育長 広報を広げるってことはすごい大事なんで、学校や子供の様子を広げるいい方法があったらまたご意見いただければありがたいと思います。よろしく願います。

三木委員 広報について、去年PTAの広報委員長やって、地域用に当然回覧したんですけども、今年担当が変わって、校長先生の方針ということで、今年から教員の名前は一切載せない、集合写真だけ。新入生の顔写真があるんですけども、名前と写真等が合致しない。個人情報の観点はわかるんですけど、子供のことはもう仕

方ないかなと思いつながら何か寂しいなど。今度その先生方の集合写真で名前載ってないってことは、その地域に回しても、誰が校長先生で誰がどの先生かわからない。その広報誌を回す意義はあるのかな。何かそこにその地域とともにある学校の広報がそういう方針だけで、名前を載せないっていうことは、あり得るのか。直接PTAの役員を変える時に先生に言ったんですけど、そういうご時世なんですということですが、なんかそのあたりのスタンスは各学校、校長先生において違うんでしょうね。ホームページはもうほとんど単独で顔は載せない、複数人で載せて名前を当然載せないってのが決まりらしいんですけど、そうすると何か地域に回しても、すごく無味乾燥なものに思えて。その子供の様子が見えれば、それでいいっていうことなんですけど、この子はどこの子やなというすぐわかるのでね。そこら辺は大人の責任なんですね、悪さをする大人がいるからそうになってしまうんだけど。でも何かそれを貫くことが果たして地域との繋がりをどうしていきたいのかなっていうふうに、校長先生にも言いました。

特に2番の豊かな心と健やかな体の育成だとか、健康及び安全教育のことですけれども、コロナが蔓延した時にあってその子供だけじゃなくて人間全体の体力とか、そういう低下が現実に表れてるといرونなところで、今後例えば、プールが今年久しぶりに夏休み期間ありましたよね。8月の下旬でもうなしになりましたがコロナが基本的な原因でしたね。

学校教育課長 今年については学校閉庁日というのが設けられた関係で、もともとそういう考えで、計画をしていた学校が多いかと思えます。ですのでコロナという部分もあるかもしれませんが、閉庁日の関係が強いかと思われま。

三木委員 私たちのそのときと比べてはなんですけど、やっぱり遅くまでプールに入れて、ただ遊びに行くってことだけじゃなくてやはりああいうことが、体力の向上とか、そういうことにやっぱり重なっていたんだなということを見ると、今後そのコロナということがある程度普通のことになりつつある中で、この3年間の特に体力、運動能力のその点検報告とともに、これを踏まえての今年度来年度以降の見通し当然あると思うんですけども、そういうことが何か比較できるというかなというふうに感じます。来年度以降のこの点検報告で取り上げていただきたいトピックとしてご提案します。

学校教育課長 おっしゃるとおりだなってこと思いましたので、体力についての推移、実際の数値で見まして報告をさせていただければと思います。

教育長 ちょうど運動能力テストありますので、それをここにやはり入れることが大事かなと思いますね。来年からはそうしていきたいと思います。また三木委員が言われたように今日実は部課長会でも話をしたんですけど、夏休み事故がなかったのは本当に子供たちのそういう危機管理能力が高かったことだろうと思いますけど、今、新聞でもいろいろ、或いはテレビでも川の事故、そして熱中症で亡くなるなど、いろいろありますが、なかなか守るだけでは駄目だなというところで、子どもたちにそういう力をつけていくことが必要ということも今後考えながら、方法を検討していこうと思っておりますので、ありがとうございました。

田中委員 1ページ目の学校が楽しいと感じる、学校の授業の内容がわかりやすいとあるんですけど、今、小学校でも教科担任制で、誰々先生の何々の授業わかりやすいけど、みんなの先生の授業わかりづらいとか、このアンケートは答えづらい。例えば（授業の内容）わかりづらいをあてはまらないというところに丸をつける

と、担任の先生から電話がかかってきて、何がわかりづらいですかという質問されるけど、このまま漠然と小学一年生の子が理解しづらかった授業がたまたまそのアンケートの前後にあったとか、多分それだけのことなんですけど、親が聞いて、わかりづらいつて答えただけなんですいませんみたいな答えをしなきゃいけないかったり、先生から直接電話があると、その説明の仕方がわかりづらいですとか、本人にはちょっと言いづらいつていうのも、保護者の間ではあって、もうとりあえず、楽しいにマルを付けるっていうのもあるんで、この数値も高いんじゃないのかなと、保護者同士の会話で思う部分もあります。

学校教育課長 おっしゃるとおりだなってことは思います。一つは学校によっては教科別に、こういったような項目でアンケートをとり、自分の指導の評価や、また改善に生かすっていうふうな取り組みをしている学校も多くあります。もう一つは、そもそもこの指標というのは、目標をクリアするってことも大事なんですけども、あてはまらない子、ややあてはまらないって子にやっぱりしっかり目を向けて、何かしら、心やそういうところに引っかかるものがあるということなのでそこにきちんと目を向けていこうということが目的でありますので、先生が電話して聞くってのはどうかと思いますけれども、そういったところに向けていけるように、もう1回確認をしながら進めていければと思います。ご意見ありがとうございます。

小口委員 教育環境の整備と充実についてですが、公共のプールに行くって言った時に、施設は老朽化する、子供は減る、本当にやる価値があるのかっていう決断はとっても難しいなと思いました。そういった中でプールは他の施設行くやろうなというふうに理解したときに、改築・修繕関係のことについて、事業を実施してみえるんやけど、今言ったような視点でものを考えても、やっぱり市民としてはそういう中でこうやって計画してやっていらっしゃるので、本当に教育総務課はご苦労さまです。頑張ってくださいと言いたいっていうことをつくづく思います。

教育長 その他ご意見ございますか。

(全員 質疑等なし)

次に文化財の保護事業の方針と重点の点検評価について、説明願います。

(松井対策監が朗読説明)

教育長 今の報告につきまして、ご意見、ご質問はありませんか。

田中委員 令和4年にふるさと歴史記念館の方へ行ってきたんですけども、桜洞城や大威徳寺など、イラストで紹介してあったり、とても興味を持てる物が展示してあってよかったなと思います。でも、私が見ても字が多いなという印象を受けて、子供たちが学校の授業で訪れるには、少し面白味がないというか、例えばクイズ形式で問題があったりとか、小学生向けのパンフレットがあるといいなと思ったのと、最後に下呂石がどうぞご自由にと置いてあったんですけど、これも何か紹介をつけて、プレゼントみたいな感じで、最後に渡していただけると、プレゼントもらえたなっていう喜びもあるのかなと。今無料なんですけど、有料にできるぐらい何か来場者が増えるものがあるといいかなとは思いました。

教育総務対策監 大変貴重なご意見を頂戴いたしましてありがとうございます。確かにおっしゃるとおり、今、無料の施設であったり、あと字が多いというのは自分でも思います。やはり、解説というのはすごく重要視しておるところで、立ち止まって読んでもらうっていうのが博物館の一つのまた機能でもあります。僕はどちらか

という立体物の方が興味が湧くというところがあって、そういうものをこれから学芸員と協議しながら、おいていこうと言っておるところでございます。あと、これから先、市の収蔵資料を整備していく中で、そういった市が把握しきれていない立体物なんかをどんどん出していけるかなと思っております。また魅力ある展示にするということは、料金をいただきやすくなるため、これまで常設展示を長年、いつ来てても同じじゃないかっていう状態が続いておったので、いずれは有料化ができるだろうと。例えば今の企画展なんかでも、100円でも取れたらなと思ったんですけど、まだちょっと展示数が少ない。なかなかそこに踏みこんでいないんですけども、これからどんどんその魅力あるものを発信していくことで、有料化できることを考えていきたいと思っております。また字もわかりやすく、全市民の方にやさしい施設を目指したいと思っております。

小口委員 市内にある文化財には白い標柱がありますよね。建物とか、遺跡なんかについては、どこが管理しているのか。

教育総務対策監 基本的には所有者が管理するものでございます。標柱は下呂市の教育委員会で設置を行いますが、あくまでもここにありますがという目印をつけて、皆さんが見て文化財かな、守っていかなくちゃいけないんだなという保護意識向上のために設置しています。また管理は所有者ということになります。ただその建物の管理はあくまでも所有者ですし、標柱の管理も所有者に行ってもらってます。標柱の文字が見えなくなってる、壊れている、倒れている場合は、文化財保護巡視員が下呂市へ報告し、それに応じて予算化し、その管理には教育委員会が関わっております。

小口委員 私の自宅近くに文化財があるんですけど、それは昔の番所だった。江戸時代の街道で、飛騨と美濃の国境に設けられた番所の一つと聞いている。そこに行くと、屋敷が建っていたとわかるんですけど、あそこを見られるのは5ヶ月だけで、秋に草が枯れて雪が降って草がない時期のみ。今は草の背丈伸びている。何人か集まって、ここに文化財があるんやけど、草を刈るかって話したんやけど、所有者は高山の方で名前がわからんし、勝手なこともできんなあなんてことがあって。まず、草のおかげで番所跡がわかりにくいし、行けばちゃんと石垣の土台があるし、どうしたもんかなあと思ったので、そういうところは市内に他にもあるんじゃないかなってことを思ったので話しました。

教育総務対策監 馬瀬の上馬瀬口留番所跡は下呂市の管理なので年に1回ぐらいですけども、担当課が下刈り作業を実施しています。昨年は下刈りを実施しましたが、それ以前は未実施だったので、ひどい状況だったと思います。また国や県の史跡は地元の保存会の方が管理しておりますので、そちらについては市から委託料をお支払いしています。上馬瀬口留番所跡について、ひどい状況の場合はお知らせください。

教育長 その他ご意見ございますか。

(全員 質疑等なし)

次に社会教育の方針と重点の点検評価について、説明願います。

(地域振興課長が朗読説明)

教育長 社会教育の方針と重点についての点検評価について、ご質問やご意見ありましたらお願いします。

細江委員 公民館主事を金山は4地区ですね、公民館活動は活発なのは金山だけですよ

で、こういうふうだと思っんで、主事をそこに置くと決めたのは従来から公民館活動を活発に行ってるから、主事をおいたほうがいいのか。もしくは例えば竹原あたりで、地元で熱心に活動しながら、自分で新聞を発行してたり、住民活動やってる人がおりますが、そういった方を竹原の公民館主事に任命するとかそういう考え方はなかったんですか。

地域振興課長 金山地域につきましては合併前から公民館活動が大変盛んということで、それを今まで継続しているというところなんです。他の地域は、例えば下呂地域、竹原とか上原とか、以前はやっておったんですが、なかなかあまり活発でなかったということもあるんですけど、やはり市内でも、今行ってるのは金山だけなので、それはどうなのかという意見も確かにありまして、これは今後のことなんですけど、公民館活動そのものを、例えばその地域の運営組織というところも、地域振興課では検討しておりまして、地域運営組織の中でそういう地域の公民館活動になるようなそういう活動も、やっていけるような形に持っていったらどうやというような議論は内部ではしているところなんです。今すぐその竹原、上原とか他の地域も公民館主事を置くというところには至っていないんですが。

教育長 今後、地域振興課で組織を考えていくということでもいいですかね。

三木委員 健全育成事業、14 ページですけども、子供会活動の推進とあります。この子供会は各地区の小中学生を集めての子供会ということですかね。

地域振興課長 各地域でそれぞれ小中学生の子供会がありますが、それが単位子供会で、各旧町村ごとに下呂市子供会の市毎にありまして、その支部のところに補助金を出させていただき、そこから、分けているような状況ですが、例えばその支部の方で、事業をやっているというところもありますので、そういう支部の事業に使いながら各、単位子供会を支援するような形でやってるんですが、今、単位子供会自体がないところが結構出てきてまして。そうすると、子供会のあるところは補助できるけどないところができないという今状況で、そういうところをどうしていくかというような話も、協議しておったところなんですけど、今後やっぱり、子供が減ってきて、単位子供会同士がまとまって、活動していくのか、それとも別の形で子供と地域の活動を支援していくのか、そこは検討しており、まだ具体的には煮詰まっていないところです。

三木委員 伺ったのは特にコロナのことがあってから、キャンプとか、小坂だとボーリング行った後にバイキングを計画していたが、開催自体が中心になってしまって、去年、会長さんが各地区の様子を聞いてこれもいいねっていうことで、つまり、手品をやる人がこの日に来て、その流れで来てもらえば交通費も軽減できるからっていうようなこともあってですね。助成があることは報告書があるんですかね。それを共有できるといいのかなって思っんです。今もうすでに閲覧できるような状況であればいいんですけども、各地区少子化の中で工夫しながら子供会の内容を検討する中で、金山はこんなことしてるよ、馬瀬ももこんなことをしてるよってそういうことを非常に参考にしたいなって、私来年会長なんです。そういうこともあってちょっと伺いました。ありがとうございます。

地域振興課長 ぜひ共有できるようにさせていただきたいと思っいます。ただ各支部自体の活動が今なかなかできてなかったりとか、そういうところもありますので、単位子供会の会長さんと共有させていただくような形になるかもしれないんですけど。

小口委員 文化協会について思っったんですけど、市の文化祭の作品が少なくなったと思

って。それから見に行かれる方も減ってるって話を聞いて、出品される方減ったのかなあと考えてます。近所で月曜日に習字教室をやってみえて、小学生から一般の方まで習字を習ってるんですよ。その方たちが文化祭の時には出品してみえるが、シニアのグループが減ってきている。これも文化協会の方たちとの相談になると思いますけど、市としてはそういったグループがどれぐらいあって、どんな活動をしていて、文化祭への参加への声かけなんかは行っていらっしゃるんですか。

地域振興課長 確かに参加される方が減ってまして、先ほど言われたシニアの作品展はコロナから行ってないと思います。文化協会の会員自体も高齢化してまして、なかなか新しい方が入ってこないというところもあるんですが。グループについては社会教育団体の登録がありますので、そこで把握することはできるんですが、あとはその文化協会から情報集めるしかない。参加についてこちらが直接当たってるといことは今のところはないです。文化協会に入って辞めるグループというのもコロナ過で結構あったみたいで、また戻ってきてくれるといいんですけど。

小口委員 減ってくることしか考えられないと思うんで、一度そのあたりについても、文化協会の方と相談して、少しでも参加するような方向を考えられたらどうかなとは思ってます。

教育長 これは喫緊の課題ですよ。今後考えていかなければならないことです。

その他ご意見ございますか。

(全員 質疑等なし)

教育総務課長 点検・評価の内容が、ほとんど決算の内容とリンクするというところで、9月の定例会が決算の時期なんですけども、今年度より9月の決算時期に合わせて議会に報告したほうがいいんじゃないかということから、今この9月の定例会に諮るために、教育委員会で報告をさせていただいたということです。委員さんのご承認をいただければ、議会の方へ報告させていただきますので、ご審議をお願いします。

教育長 これを今度議会に提出したいと思いますが、承認される方、挙手をお願いします。

(全員挙手)

ありがとうございました。全員挙手ということで、承認されました。

日程第6、教育報告事項になります。各課の業務報告をお願いいたします。

(教育総務課長が朗読説明)

(学校教育課長が朗読説明)

(地域振興課長が朗読説明)

教育長 それでは今の各課の報告につきまして、ご意見、ご質問ありましたらお願いします。

(全員 質疑等なし)

教育長 その他について何かございますか。

それでは、次回の教育委員会を9月29日に開催することとし、第5回の教育委員会を閉会させていただきます。